

ひろしまの 土地改良



2015年 第240号



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2014 ふるさと水と土優秀賞
「たうえ」 井田せなな（学校法人杉原学園松永幼稚園）

●「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2014 授賞式

平成26年11月29日（土）東京都内日展会館に於いて「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2014入賞作品の授賞式が行われました。8,359点の応募作品から入賞22点選ばれ、広島県から福山市松永幼稚園井田せななちゃん（5）が、全国土地改良事業団体連合会野中会長より「ふるさと水と土優秀賞」の表彰を受けました。

（関連記事は7ページに掲載）



表彰を受ける井田せななちゃん

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
 広島県土地改良事業団体連合会
 会長 **はだ あきら**
羽田 皓

新年明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より農業農村整備事業の円滑な推進、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

去年は全国的に自然災害が多発した年で、広島県内においても8月に起きた広島市の大規模土砂災害では、甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

さて、農業・農村は、安全で安心な食料を安定的に供給し、豊かな自然環境や美しい景観の保全、伝統文化の継承など多面的な機能を有しております。農業・農村がその重要な役割を存分に発揮し、活力に満ちたものとなるよう、本会では強い農業づくりと併せ、農村の活性化に向けた取り組みを積極的に推進して参ります。

そのためにも、農地や農業用施設、生活環境施設が将来にわたり安定的に機能を維持発揮でき、農村環境が適切に保全されるよう、農業生産基盤の整備や農村の生活環境向上対策への取り組みと併せ、土地改良区の運営基盤の強化に向け、支援・協力して参る所存でございます。

本会が果たすべき役割は大きいものと認識し、新たな時代の要請に応じた使命と責任を担い、役職員一丸となって取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成二十七年元旦	他職員一同	監事 小池 智慧登	監事 吉田 基治	代表監事 小坂 眞治	理事 小田 中達美	理事 小村 和年	理事 高田 幸典	理事 奥田 正和	理事 平谷 祐宏	理事 木山 耕三	理事 増田 和俊	理事 箕野 博司	理事 浜田 一義	理事 吉田 隆行	常務理事 眞野 勝弘	副会長 下垣 雅史	副会長 牧野 雄光	副会長 藏田 義雄	会長 羽田 皓
----------	-------	-----------	----------	------------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------	-----------	-----------	-----------	---------

水土里ネットひろしま
 (広島県土地改良事業
 団体連合会)

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長
 ほうらいのぶ お
 寶 来 伸 夫

明けましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県では平成22年12月に策定した「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」に基づき、「産業として自立できる農林水産業の確立」を最も重要な目標とし、「生産から販売までが一体となった持続的な農業の確立」などに向けた施策に全力で取り組んで参りましたが、依然として県産農産物のシェアは低迷し、農業の担い手への農地集積が進まないことや、県の農業を支える若い農業者が少ないことなどの課題を抱えております。

こうした中で、国においては米政策の見直しや日本型直接支払制度の法制化が行われ、TPPをはじめとした国際化への議論も進展するなど、本県の農林水産業を取り巻く環境変化への対応が必要となったことから、これまでの取組を検証し、見直しも含めて、「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」の目標をより着実に実現していくための、具体的な取組を進めるアクションプログラムを平成26年12月に策定いたしました。

プログラムでは、キャベツ16億円産地やレモン22億円産地の育成に向けた大規模農業団地を中心とした生産体制の構築などを3年間の集中的取組に位置付けるほか、農地や農業用水利施設などの地域資源の維持や防災・減災対策などに取り組むこととしており、これらを達成するために農業生産基盤整備は引き続き重要な役割を担うものと考えております。

皆様におかれましても、農業農村整備事業の推進を通じて、本県の農業・農村の発展に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますの御発展と御健勝、御多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。

平成27年1月



自慢は持ち前の団結力！全員参加の取り組みで環境づくりを目指す

ななつかにし
～七塚西農地を守る会～

庄原市の「七塚西農地を守る会」が活動するフィールドは中国山地のほぼ中央の緑美しい山地となだらかな田園地帯が続く自然豊かな地域です。高齢化に伴う担い手不足から農地の荒廃が進むなどの問題が深刻化し、平成19年に農事組合法人七塚西が設立されました。設立と同時期に「七塚西農地を守る会」を結成し、農地・水・環境保全対策に取り組むことになりました。

これからの地域をどのように守っていくか各々が意見を出し合い、最初に景観形成活動として農地周りの環境を整えることを目標に、田の周辺に桜の苗木100本を植え付けるなど快適な農村環境づくりを目指して地域全戸（4集落）が参加して活動しています。



シバザクラ植栽苗2000本を植付け



水路の目地詰め



ため池の泥上げ

本地域は、道路・水路の補修やため池の管理も大きなウエイトを占め、ため池の水を抜いての清掃、泥上げ、底樋の維持管理・ゲートのペンキ塗りなど、各々の管理活動を積み重ねています。定期的実施する施設の見回り点検では、丁寧に確認し安全管理に努め、見過ごすことの無いよう注意を払っています。

現在、美しい景観づくりのために芝桜の植栽を行っていますが、高齢化に伴う草刈り作業の労力軽減ため、センチピードグラスの植栽に切



世代間交流 芋の苗植え体験
おいしいお芋が出来るよう願いを込めて植えていました

り替えていく予定です。

地域の老人会（白寿会）と連携し、子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層が集まって、田植え、稲刈り、芋の苗植えや芋ほりなどの農業体験を通じた世代間交流を図っています。子どもたちに、昔ながらの伝統的な農作業や、今と昔の「食」や住環境の違いなどを継承しています。この交流をきっかけに子どもたちの、農業への視野が広まればと願いながら取り組んでいます。缶ひろいやゴミ拾いなど、農村環境保全活動は地域（集落）の結束力の源にもなっています。

七塚西農地を守る会の概要

- 設立年月日：平成19年4月1日
- 所在地：庄原市七塚町
- 農地面積：田48.67ha
- 活動内容：草刈り、ため池・水路の泥上げ、整備、芝桜植の植栽
- 農業用施設：水路、ため池、農道



世代間交流 稲刈り体験



世代間交流 田植え体験後に参加者で記念写真

農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・農村環境保全協議会

12月2日（火）、三次市みわ文化センターに於いて多面的機能支払交付金（資源向上支払）機能診断・補修技術等研修会を開催し、県内で取り組みを行う関係者約800名が午前・午後に分かれて受講しました。

県協議会岩崎常雄事務局長より「日本型直接支払の1つ、多面的機能支払交付金がスタートし、制度内容の見直しが図られたことにより、活動へ取り組みやすくなり、地域から多くの要望を受けている状況である。新たな活動組織が増え、農業者だけでなく非農家や子ども達を交えた保全活動が地域の活性化につながっていくことを願っている。」と本事業に対する期待を述べられました。研修会は中国四国農政局土地改良技術事務所から「機能診断と軽微な補修について」をテーマにお話しをいただき、実地研修を行いました。



補修前にポイントを説明



実地研修

● 第37回全国土地改良大会（山梨大会）開催

第37回全国土地改良大会（山梨大会）が、平成26年10月30日（木）13時00分から、山梨県甲府市「山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨」で開催され、大会テーマ「富士の国やまなし発 かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良」の下、全国から約3,600名の農業農村整備事業関係者が参集しました。食料自給率の向上と食料安定供給の確保、農業・農村の多面的機能の発揮などの必要性和農業農村整備事業の役割をアピールし、農業・農村を次世代へ引き継ぐため、水土里を守り育てる土地改良の重要性を国内外に発信しました。

大会式典中に行われた平成26年度全国土地改良事業功績者表彰では全国土地改良事業団体連合会長表彰に比婆郡東城町内堀土地改良区の長谷時男理事長が受賞されました。

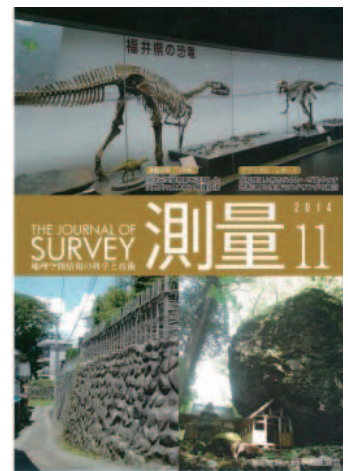


土地改良事業功績者表彰
長谷時男 理事長

● 「測量」11月号に広島県土地改良事業団体連合会が紹介されました

公益財団法人 日本測量協会が発行する「THE JOURNAL OF SURVEY 測量」11月号で広島県土地改良事業団体連合会が『地元の信頼を築く測量支援班』と題して、品質管理優良会社紹介の記事に掲載されました。確定測量を担当する本会東部事業所測量支援班は、測量成果品質管理に於いて過去奨励賞2度、優秀賞を1度受賞し、常に安定した品質確保を目指してきました。

本誌では、受賞までの過程を振り返っての感想や、実績を積み重ね地元から期待が寄せられている旨などが書かれ、今後の取り組みへのエールを送っていただきました。



「測量」表紙



東部事業所測量支援班



紹介記事

こちら21 創造運動事務局 ≡ 二 掲示版

恒例 八木用水クリーン作戦を行いました

平成26年11月30日(日)、水土里ネット祇園町外二ヶ町が8月の土砂災害に遭わなかった長束学区、原南学区、原学区、古市学区で八木用水クリーン作戦を行いました。地域の方々や各区自治会から231名と近隣企業など22団体から多くの方に参加いただき、可燃ごみ160kgを始めとしゴミの分別に至るまでの作業に汗を流しました。



八木用水の清掃活動 (写真左、上)



清掃の成果！
分別したゴミ
(写真上)



何故か傘がこんなに
たくさん (写真左)

八木用水ボランティアで土砂撤去

平成26年12月13日(土)、豪雨災害により流入した八木用水路内隧道部分の土砂の撤去を水土里ネット祇園町外二ヶ町がボランティアを募集し行いました。当日の広島市内は雪と雨が降り続く天候でありながら10名が参加し、用意した土嚢袋300枚を使い切りました。参加して下さった皆様には大変感謝申し上げます。



雪と雨のなかの
撤去作業

水土里レポーター報告

水土里ネット福山の「水土里レポーター報告」を抜粋して掲載します。「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展」を取りまとめた応募した作品から入賞作品が選ばれるなどうれしい話題の様です。(詳細は本会ホームページ <http://www.hdn.or.jp/main.htm>、・全国水土里ネットホームページ<http://www.inakajin.or.jp/>からご覧ください。)

平成26年12月12日(金)福山市役所で水土里ネット福山 羽田皓理事長へ「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展2014」の全国入賞授賞の報告をしました。報告会には、松永幼稚園年長組 井田せななさんとお母さん、松永幼稚園柳沢理事長、農業体験に協力して下さった、廻野明倫^{かしのあきのり}さんが出席しました。井田せななさんから「おともだちといっしょに、たうえをしているところをかきました。たんぼのつちは、トントンして、ぬったらいいかなとおもいました。これからも、えをかくことをがんばります。」と報告しました。つぎに、松永幼稚園の農業体験に協力いただいている廻野さんから、農業体験の経緯を話され、松永幼稚園の子ども達と一緒に栽培した「かかしの里」で収穫されたお米が、水土里ネット福山羽田理事長へ贈呈されました。羽田理事長から、井田せななさんへお祝いの言葉とご褒美の贈呈をしました。(水土里レポーター 佐々田 愛)



「かかしの里」で収穫された新品種「恋の予感」



羽田理事長よりご褒美の贈呈



入賞作品を手に記念撮影

ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展 2014 入賞・入選作品 (広島県受賞分)

入賞



ふるさと水と土優秀賞「たうえ」
井田せなな (学校法人杉原学園松永幼稚園)



お米がうまいで賞「おとうさんのおしごと」
堤中 美優 (東広島市立豊栄小学校)

入選



「八木用水」
石橋 彩花
(広島市立梅林小学校)



「大切な八木用水」
井手ノ瀬 舜
(広島市立梅林小学校)



「くわいの草刈り」
西原 稜紀
(福山市立新涯小学校)



「だんごむし」
山下 陽太
(福山市立多治米保育所)

団体賞



八木用水賞
「おだやかな水路に泳ぐ鯉」
新村 日菜
(広島市立八木小学校)



水土里ネット福山理事長賞
「冬に向けてのくわいの手入れ」
掛谷 海翔
(福山市立新涯小学校)



住みやすく豊かな村づくり
みどり
水土里ネットひろしま

季刊 ひろしまの土地改良 第240号

■ 平成 27 年 1 月 15 日
編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
〒730-0017 広島市中区鉄砲町 4-1 広島県土地改良会館
■ TEL (082) 502-7470 ■ FAX (082) 502-7480
■ http://www.hdn.or.jp
■ 印刷：佐々木印刷株式会社